

社員生活を充実させる制度運用の実現を

申2号次期ダイヤ改正から導入する「行路選択制」に関する申し入れ

「乗務員勤務制度の見直し」、及び「賃金制度の改定」の実施に伴い、次期ダイヤ改正から「育児・介護勤務A」適用者の行路選択制が導入されます。

また乗務員勤務以外の「指導担当等」「支社企画部門」「当務主務」が所定勤務の一部で乗務することを目的とした乗務割交番から遊離した枠外運用行路が作成されます。

短時間行路は「労働時間B」を無くし「その他時間」として見直すことから行先地の時間に対する業務指示にも注目していく必要があります。

乗務員勤務の特性や各区所の条件により、行路数や時間帯、実乗務時間など短時間行路の具体的な運用は現場毎に異なるものとなります。

見直しの目的とされる多様な働き方の実現のためには、気兼ねすることなく制度を利用できる環境の導入を実現に向け、申2号次期ダイヤ改正から導入する「行路選択制」に関する申し入れを提出しました。

● 申2号 申し入れ項目

1. 次期ダイヤ改正以降、各運輸区職場における育児・介護制度A・Bを申請をしている社員の人数をそれぞれを明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区

2. 次期ダイヤ改正において各運輸区職場における短時間行路「育児・介護勤務A」の行路数(6時間・6時間に満たない)及び時間帯、実乗務時間を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区

3. 次期ダイヤ改正において各運輸区職場における「指導担当等」の行路数及び時間帯、実乗務時間を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区

4. 次期ダイヤ改正において各運輸区職場における「支社企画部門」の社員の行路数及び時間帯、実乗務時間を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区

7期連続の増収を実現も 4期連続の3.18ヶ月回答

2018年度年末手当に関する申し入れ団体交渉

中央本部は11月14日に申9号・2018年度年末手当に関する申し入れの第3回団体交渉を行い「基準額は基準内賃金の3.18ヶ月分」「55歳以上の社員およびグリーンスタッフへの加算は行わない」とする回答を受けました。

本部交渉団は席上妥結せず持ち帰り検討として中央執行委員会で稟議を行いました。

営業収益が右肩上がりであるにも関わらず、JR労働者の努力に代る回答ではない旨を確認する結果をめぐります。

- 一方で「成果に対する経営側の謝意がこれまでより一歩踏み込んでいる」「月数プラス額とする回答としていない」ことから、悔しさを次の取り組みにつなげる確認を踏まえて妥結の判断に至りました。
- 年末手当のたまたかの悔しさや怒りをエルダー社員基本賃金改善や2019年度賃金改善の取り組みにつなげ、すべてのJR労働者とともに要求を実現するために、JR労働者の東日本ユニオンへの結果をめぐります。

5. 次期ダイヤ改正において各運輸区職場における「当務主務」の行路数及び時間帯、実乗務時間を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区

6. 次期ダイヤ改正において各運輸区職場の短時間行路における先行地時間の考え方を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区



「指導担当等」の行路数及び時間帯、実乗務時間を明らかにすること。
- (1) 酒田運輸区
- (2) 新潟運輸区
- (3) 新潟運輸区
- (4) 長岡運輸区
- (5) 新潟新幹線運輸区

二度と命を失わないために行動を

新潟新幹線運輸区分会第6回定期大会

新潟新幹線運輸区分会では10月29日、新潟新幹線運輸区講習室にて第6回定期大会を開催しました。

大会の冒頭、羽越本線・羽後本庄駅構内における組員死亡事故を受けての中央執行委員会見解の読みあわせ、黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りするとともに、JR東日本グループで働く社員が二度と勤務中の事故で命を失わない、失わせないために行動する決意を確認しました。

質疑では上越新幹線の



(新潟新幹線運輸区分会投票)

秋晴れの空のもとゴルフを通じ

中央本部主催
JR東日本労働組合
第5回ゴルフ大会

仲間のつながりを強める

戸地本の皆さんの準備で開催されました。新潟地本から13名が参加し、秋晴れの下でプレーを楽しみました。

新潟地本は団体戦で準優勝。個人戦でも新潟支部の柳さんが準優勝、上越支部の松井さんがベスト口賞を獲得するなど大活躍でした。

個人優勝は長野地本の土屋さん、団体優勝は高崎地本という結果でした。

前日の24日には横浜地本の皆さんと交流戦も行われ、満喫したゴルフを通じ横のつながりを強化することができました。

表彰式では、来年の再会を参加者全員で誓い合いました。

(参加者投稿)

